

2025年11月7日

各 位

会社名 三菱ロジスネクスト株式会社
代表者名 代表取締役社長 間野 裕一
(コード番号 7105 東証スタンダード)
問合せ先 財務本部グローバル財務部長 三好 紀彦
(TEL : 075-951-7171)

2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2025年8月5日に公表しました2026年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 650,000	百万円 24,000	百万円 18,000	百万円 11,000	円 銭 103.12
今回修正予想 (B)	635,000	14,000	8,500	1,000	9.37
増減額 (B-A)	△ 15,000	△ 10,000	△ 9,500	△ 10,000	—
増減率 (%)	△ 2.3	△ 41.7	△ 52.8	△ 90.9	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	665,594	20,766	14,860	8,664	81.26

(2) 修正の理由

第2四半期の実績と足許の事業環境を踏まえて、2026年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。

2025年8月に発表した業績予想においては、相互関税の影響による需要の下振れ、競争環境の悪化、受注確保のための販売コストの増加に加えて関税政策に伴うコスト増を全額価格転嫁で吸収することが困難であることを見込んでおりましたが、米州の足許の事業環境は急激かつ想定以上に悪化しております。

主力である米州において、米国関税232条の適用範囲拡大により更なる需要鈍化が生じており、大口顧客の発注先延ばしもあって、エンジン認証遅延で一時出荷停止のあった前年同期と比較しても販売台数は低下し、極めて厳しい事業環境となっております。加えて、価格攻勢が増す韓国勢との販売競争が激化し、米国関税等によるコストアップを販売価格に転嫁することがますます困難になってきています。また、国内エンジン製造子会社において、北米での認証遅延にかかる偶発損失が想定を上回る見込みとなったため、2026年3月期第2四半期連結会計期間において、特別損失として偶発損失引当金を追加計上いたしました。

上記を踏まえまして、売上高は2025年8月に発表した業績予想を△2.3%下回る見込みとなりました。利益につきましては、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のすべての利益項目において、2025年8月に発表した業績予想を下回る見込みです。

なお、のれん等償却前営業利益につきましては、前回発表の330億円と比較して105億円の減額となる225億円を予想しております。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上